

バイオナックと次亜による SUS（ステンレス）腐食耐久試験

1) 評価方法

- ・試験部材：SUS304（30×40×0.5mm）、試験繰り返し各水準2回
- ・試験洗浄剤：バイオナック及び6%NaClO（各50倍、5倍希釈液）
- ・試験方法：55℃試験液中、14日間浸漬（3日間毎に新液交換）

2) 評価結果：図4、5に示した。

次亜塩素、バイオナック 50倍希釈液に14日間浸漬		
-	次亜塩素 6%	バイオナック
外観	 50倍14日で腐食浸食、発生	 50倍14日で腐食浸食、無
腐食度 (gmh)	0.0311	0.0002
侵食度(mm/y)	0.0344	0.0002

図4 SUS304劣化試験後の試料外観および腐食度、侵食度測定結果

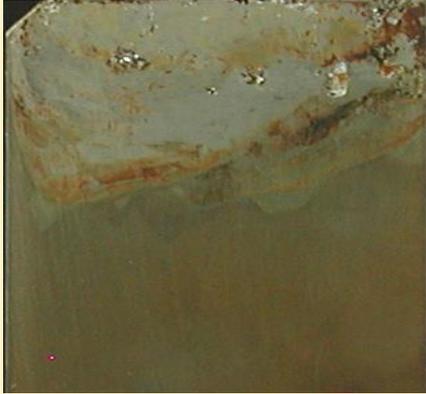
次亜塩素、バイオナック 5倍希釈液に 14 日間浸漬		
-	次亜塩素 6%	バイオナック
外観	 <p>5倍14日で腐食浸食、発生</p>	 <p>5倍14日で腐食浸食、無</p>
腐食度 (gmh)	0.1324	0.0003
侵食度(mm/y)	0.1450	0.0003

図5 SUS304 劣化試験後の試料外観および腐食度、侵食度測定結果

3) 結果の要点

: バイオナックの **SUS304** に対する腐食は、
次亜よりも大幅小さく、孔食の発生も認めらなかった。